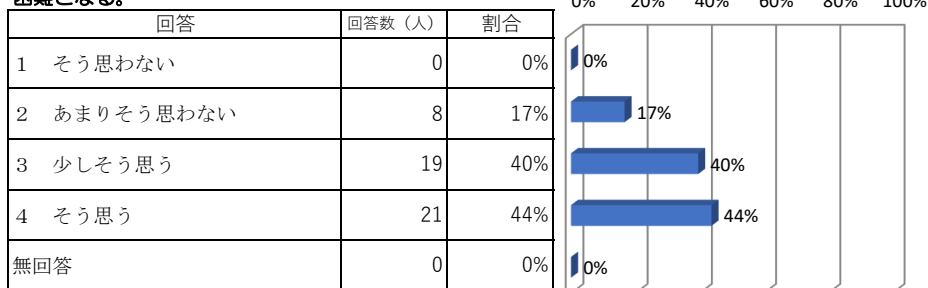
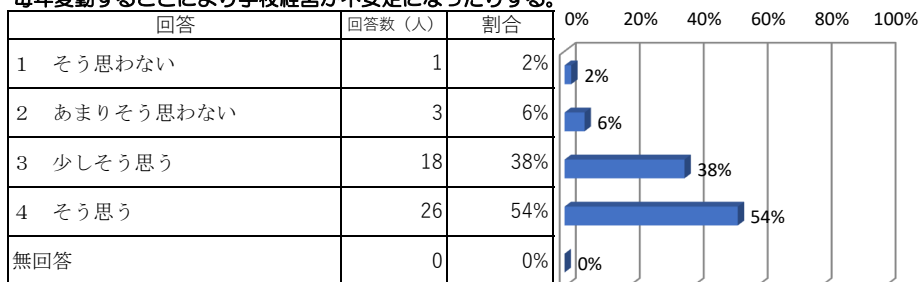
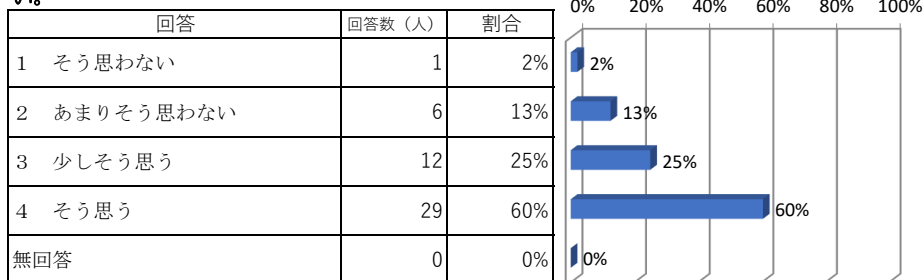
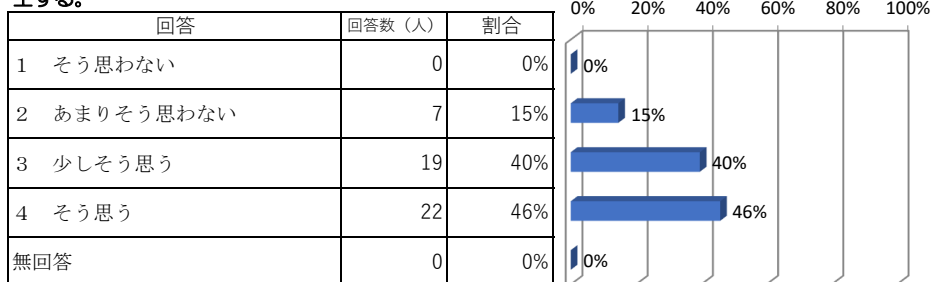
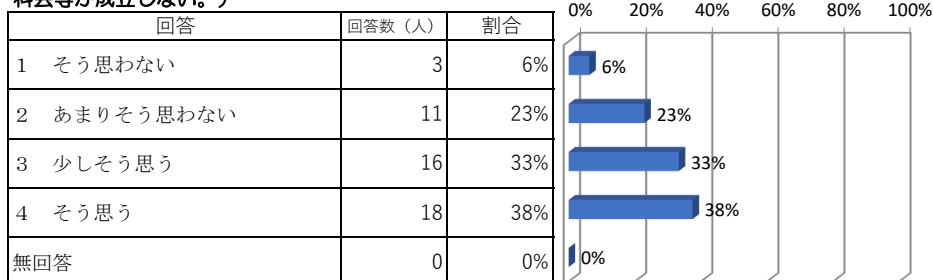


※（１）～（９）は校長・教頭・教務主任（４８名）のみ回答

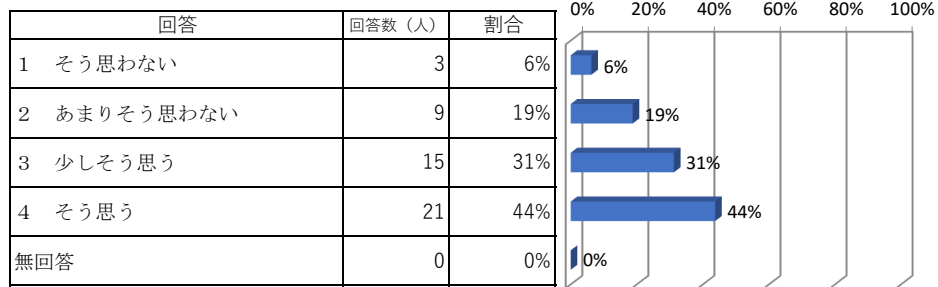
回答数 96

※（１０）は中学校のみが対象の設問のため記載を省略

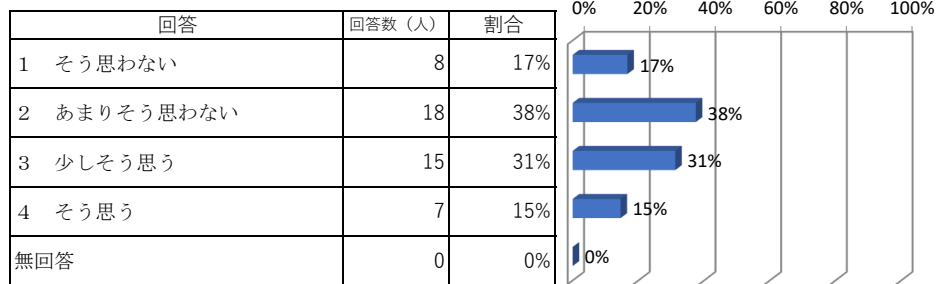
（１）経験年数、専門性、男女比等バランスのとれた教職員配置やそれらを生かした指導の充実が困難となる。**（２）教員個人の力量への依存度が高まり、教育活動が人事異動に過度に左右されたり、教員数が毎年変動することにより学校経営が不安定になったりする。****（３）教職員一人当たりの校務負担や行事に関わる負担が重く、校内研修の時間が十分確保できない。****（４）学年によって学級数や学級当たりの人数が大きく異なる場合、教員間に負担の大きな不均衡が生ずる。****（５）教員同士が切磋琢磨する環境を作りにくく、指導技術の相互伝達がなされにくい（学年会や教科会等が成立しない。）**

アンケート調査回答状況（小学校 小規模校）

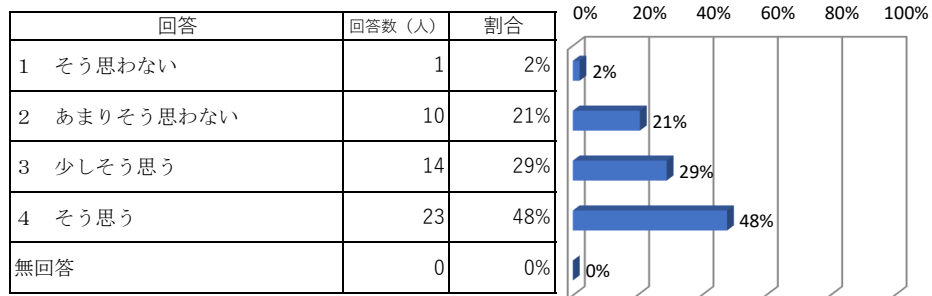
（６）平日の校外研修や他校で行われる研究協議会等に参加することが困難である。



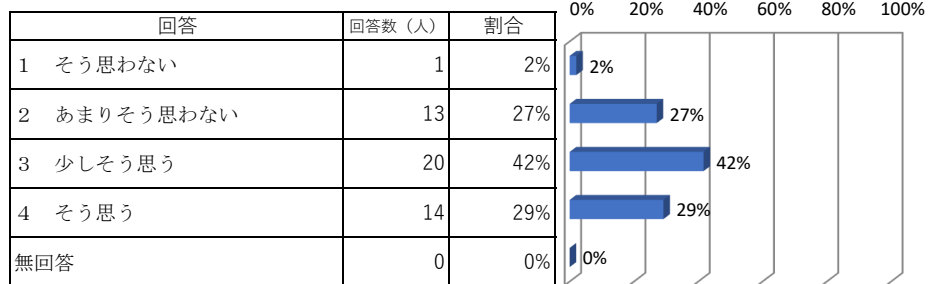
（７）学校が直面する様々な課題に組織的に対応することが困難である。



（８）クラブ活動や部活動の種類が限定され、指導者確保が困難である。

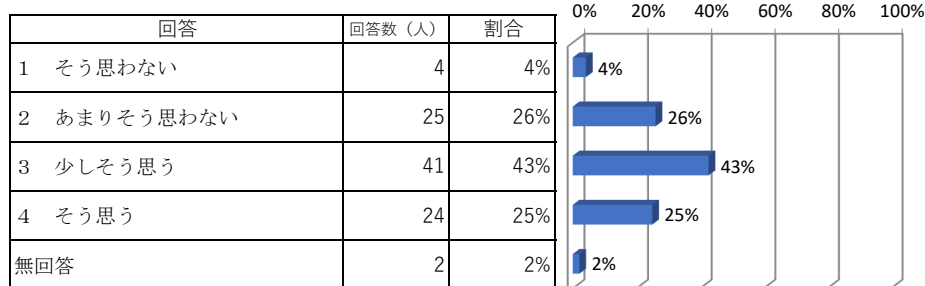


（９）専科指導等、教員それぞれの専門性を生かした教育が困難である。

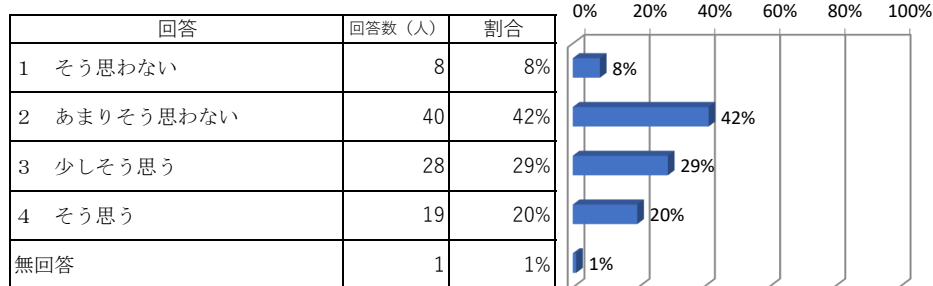


アンケート調査回答状況（小学校 小規模校）

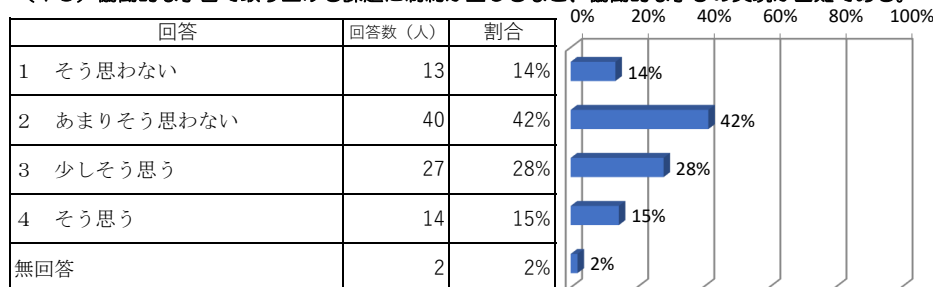
（１１）教科等が得意な子どもの考えにクラス全体が引っ張られがちとなる。



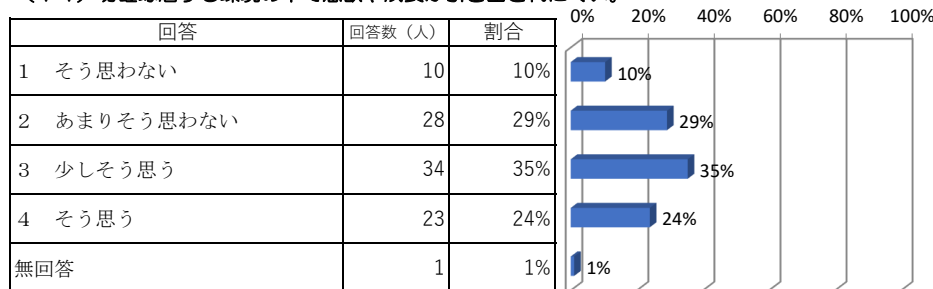
（１２）児童生徒から多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じる。



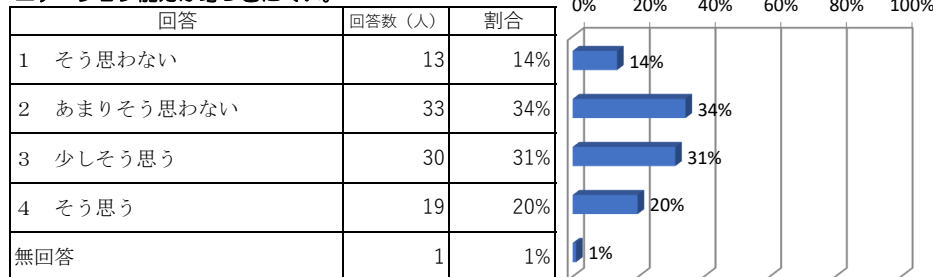
（１３）協働的な学習で取り上げる課題に制約が生じるなど、協働的な学びの実現が困難である。



（１４）切磋琢磨する環境の中で意欲や成長が引き出されにくい。

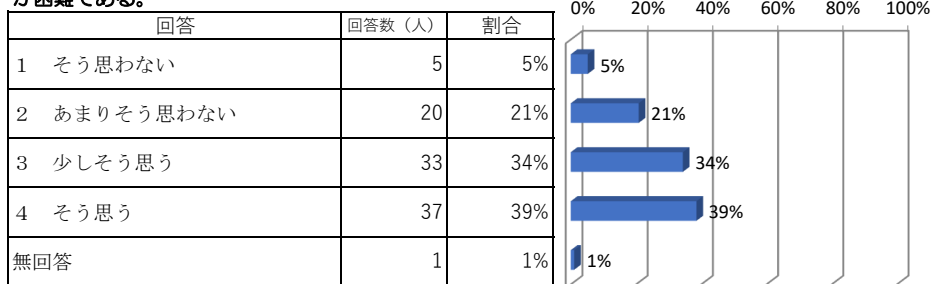


（１５）集団の中で自己主張をしたり、他者を尊重したりする経験を積みにくく、社会性やコミュニケーション能力が身につきにくい。

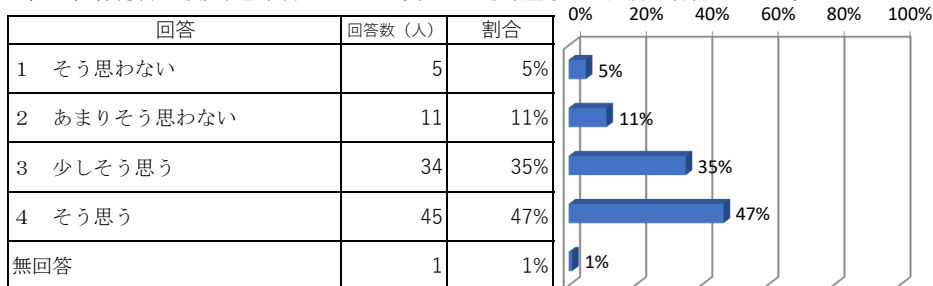


アンケート調査回答状況（小学校 小規模校）

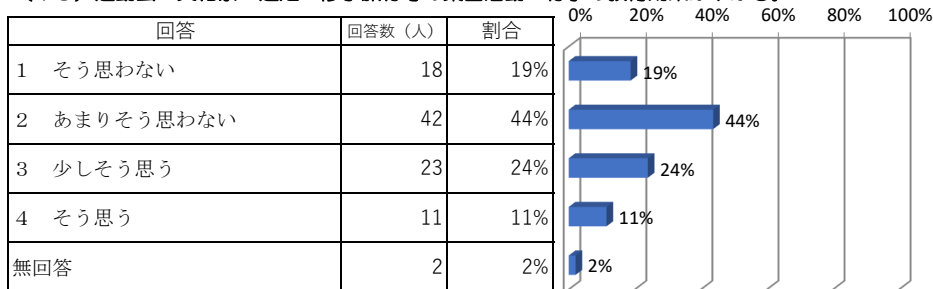
（１６）ティーム・ティーチング、グループ別指導、習熟度別指導等の多様な指導方法をとることが困難である。



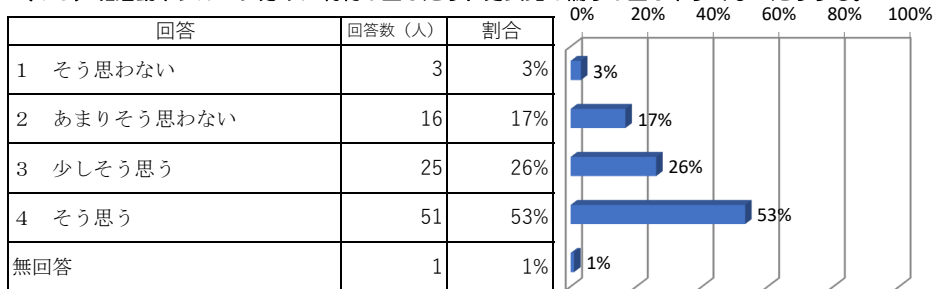
（１７）体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる。



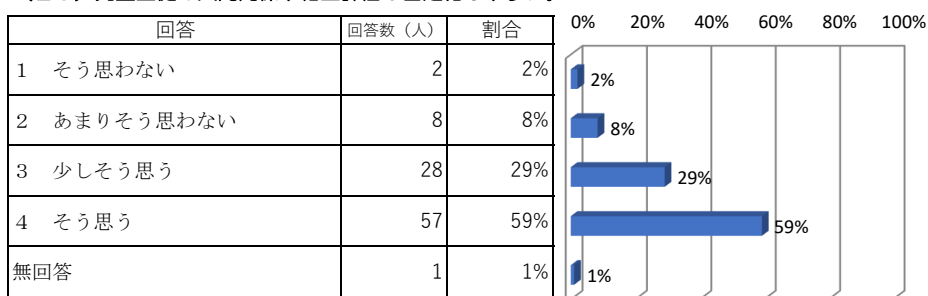
（１８）運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・行事の教育効果が下がる。



（１９）班活動やグループ分けに制約が生じたり、男女比の偏りが生じやすくなったりする。

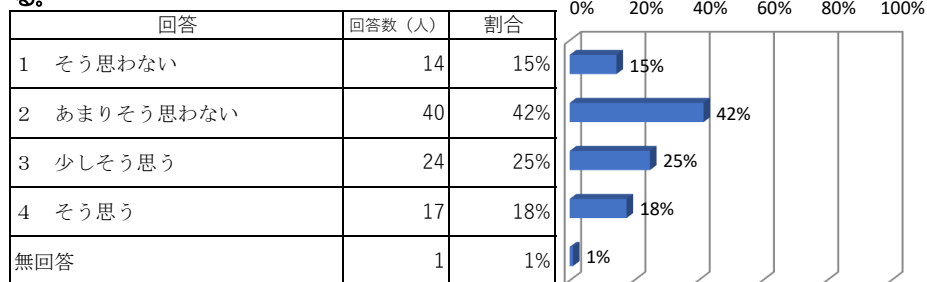


（２０）児童生徒の人間関係や相互評価が固定化しやすい。

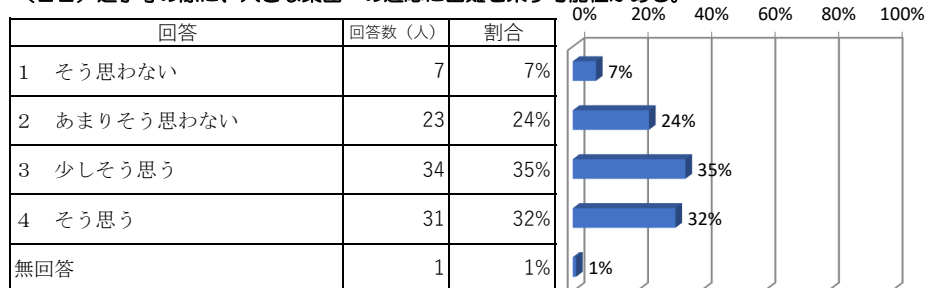


アンケート調査回答状況（小学校 小規模校）

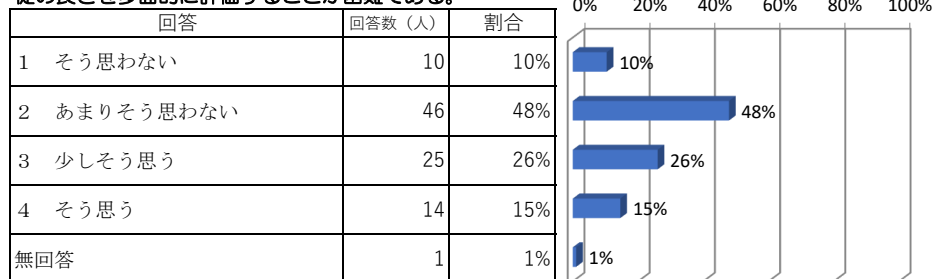
（２１）教員への依存心が強まったり、教員と児童生徒との心理的な距離が近くなりすぎたりする。



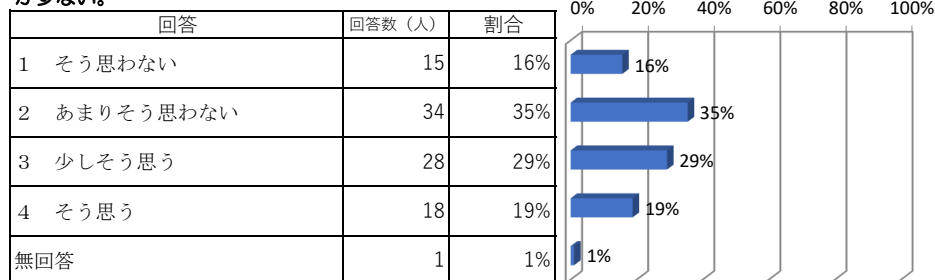
（２２）進学等の際に、大きな集団への適応に困難を来す可能性がある。



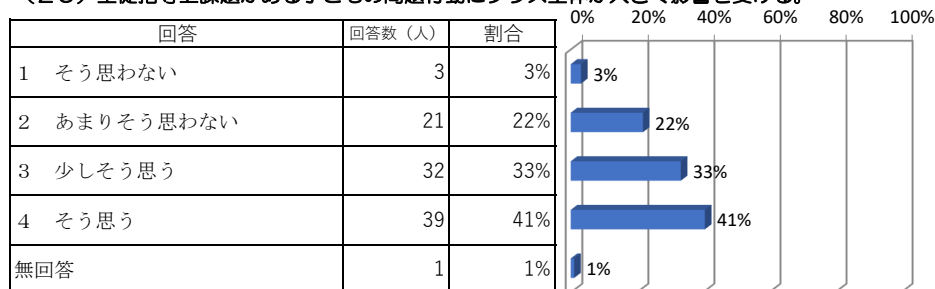
（２３）児童生徒が多様な物の見方や考え方、価値観、表現の仕方に触れることが難しく、児童生徒の良さを多面的に評価することが困難である。



（２４）上級生・下級生間のコミュニケーションの機会や、学習や進路選択の模範となる先輩の数が少ない。



（２５）生徒指導上課題がある子どもの問題行動にクラス全体が大きく影響を受ける。

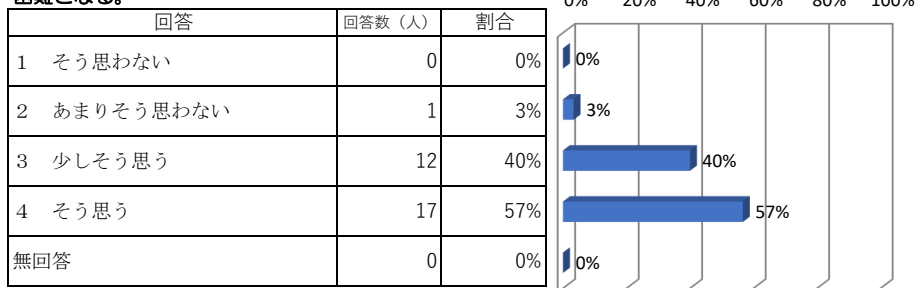


アンケート調査回答状況（中学校 小規模校）

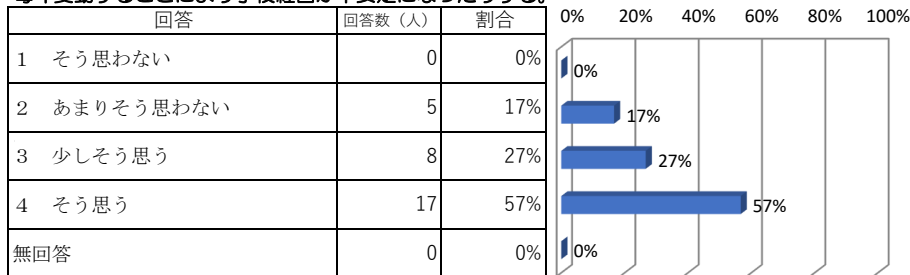
※（１）～（１０）は校長・教頭・教務主任（３０名）のみ回答

回答数 63

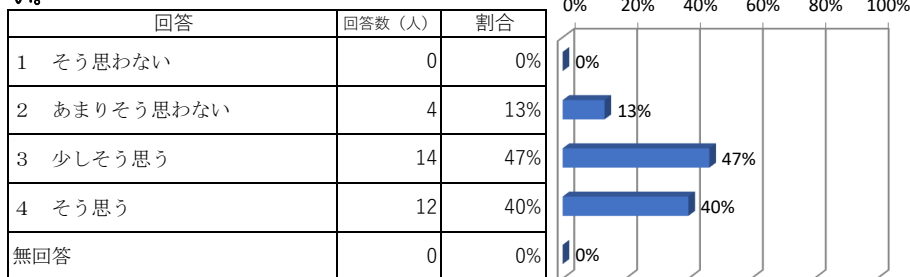
（１）経験年数、専門性、男女比等バランスのとれた教職員配置やそれらを生かした指導の充実が困難となる。



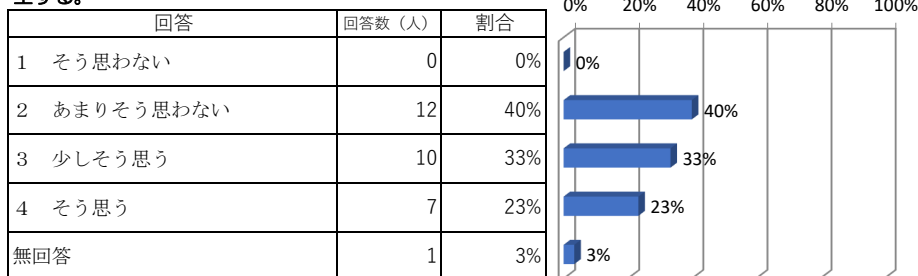
（２）教員個人の力量への依存度が高まり、教育活動が人事異動に過度に左右されたり、教員数が毎年変動することにより学校経営が不安定になったりする。



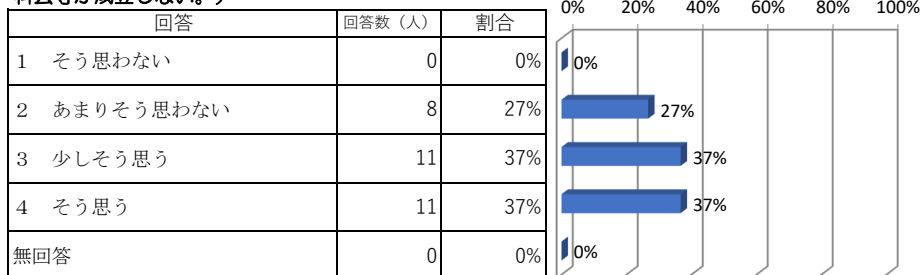
（３）教職員一人当たりの校務負担や行事に関わる負担が重く、校内研修の時間が十分確保できない。



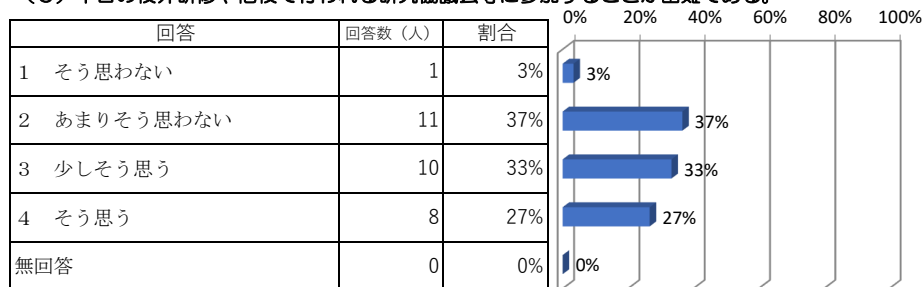
（４）学年によって学級数や学級当たりの人数が大きく異なる場合、教員間に負担の大きな不均衡が生ずる。



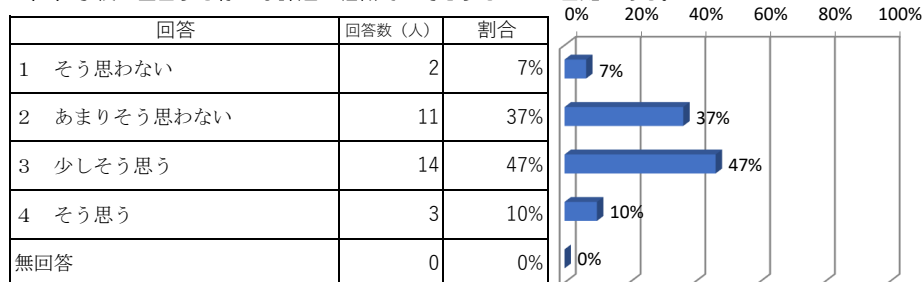
（５）教員同士が切磋琢磨する環境を作りにくく、指導技術の相互伝達になされにくい（学年会や教科会等が成立しない。）



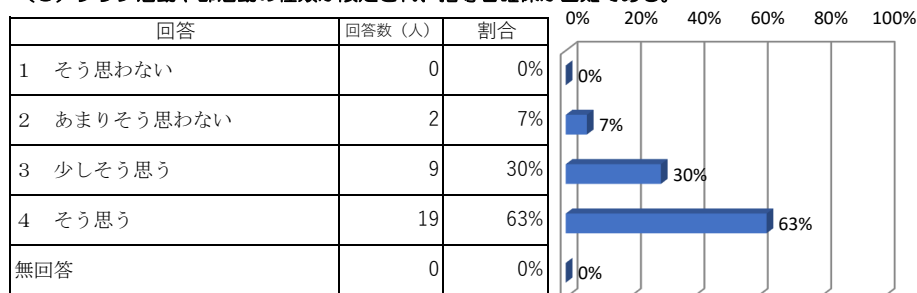
（６）平日の校外研修や他校で行われる研究協議会等に参加することが困難である。



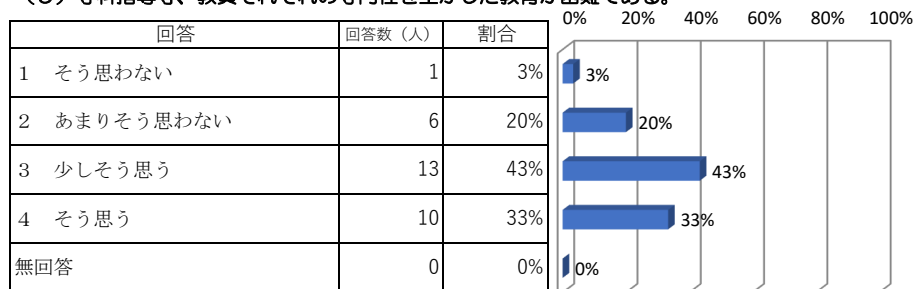
（７）学校が直面する様々な課題に組織的に対応することが困難である。



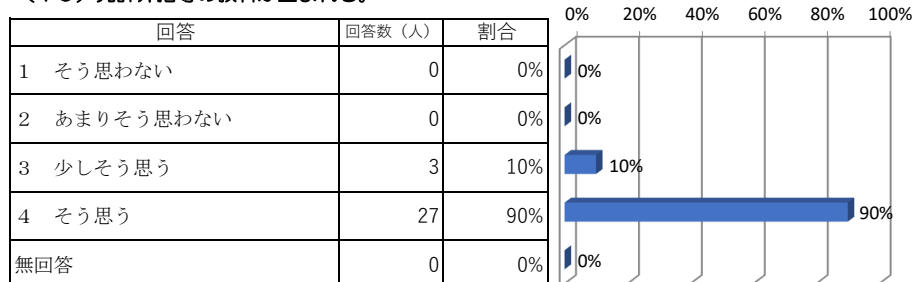
（８）クラブ活動や部活動の種類が限定され、指導者確保が困難である。



（９）専科指導等、教員それぞれの専門性を生かした教育が困難である。

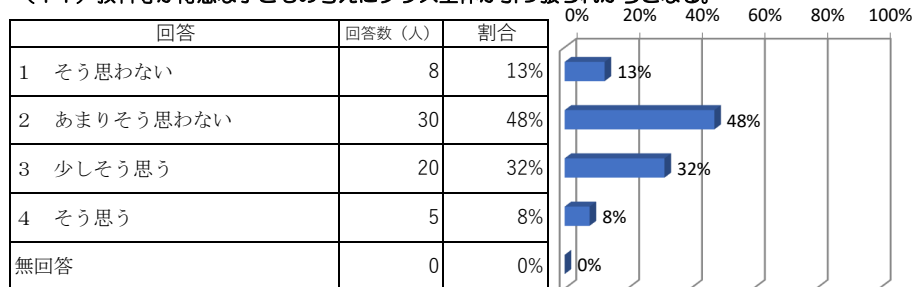


（１０）免許外指導の教科が生まれる。

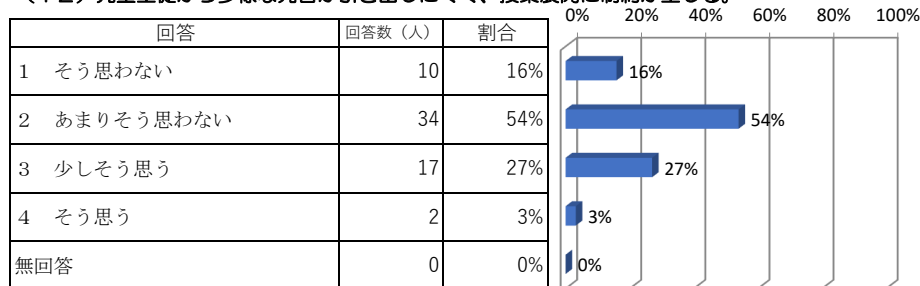


アンケート調査回答状況（中学校 小規模校）

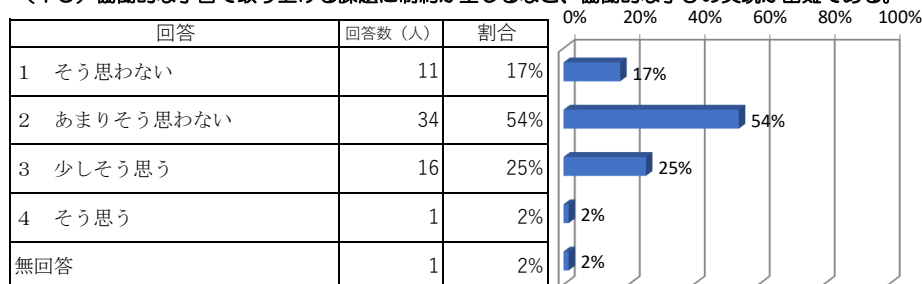
（１１）教科等が得意な子どもの考えにクラス全体が引っ張られがちとなる。



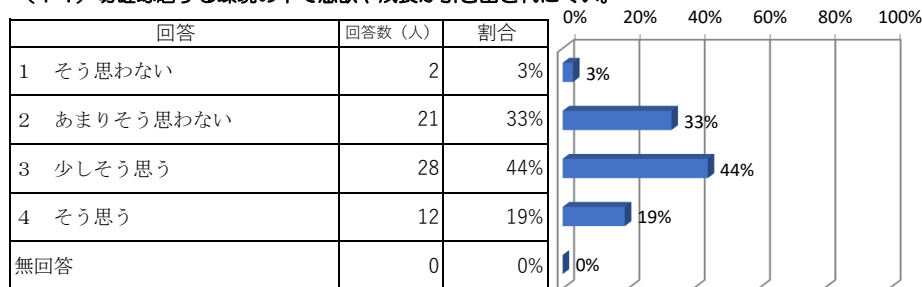
（１２）児童生徒から多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じる。



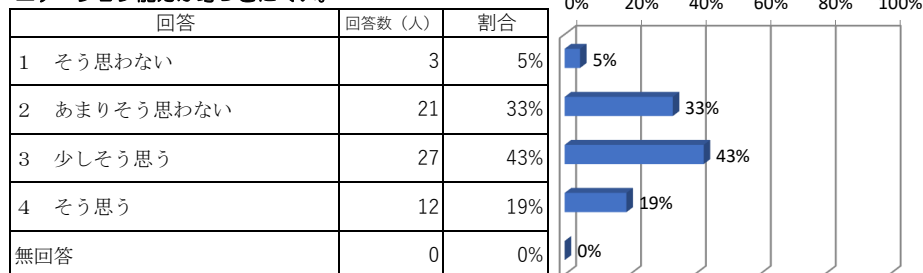
（１３）協働的な学習で取り上げる課題に制約が生じるなど、協働的な学びの実現が困難である。



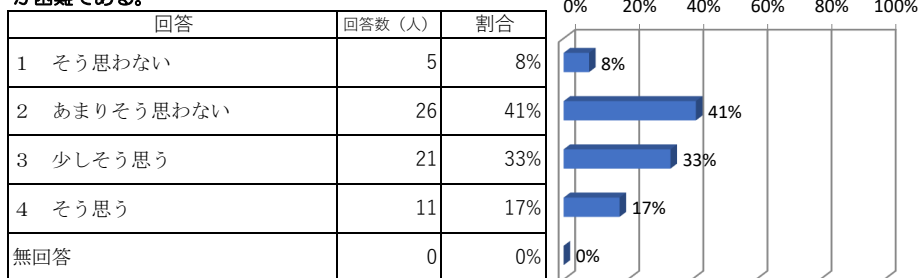
（１４）切磋琢磨する環境の中で意欲や成長が引き出されにくい。



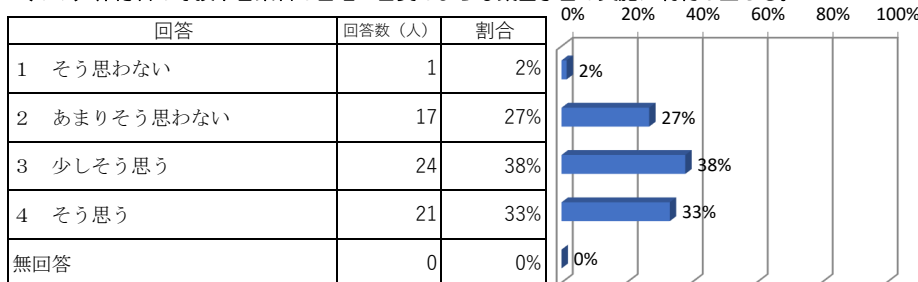
（１５）集団の中で自己主張をしたり、他者を尊重したりする経験を積みにくく、社会性やコミュニケーション能力が身につけにくい。



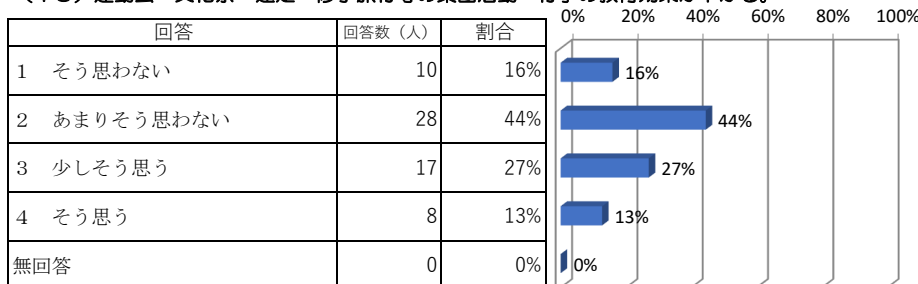
（１６）チーム・ティーチング、グループ別指導、習熟度別指導等の多様な指導方法をとることが困難である。



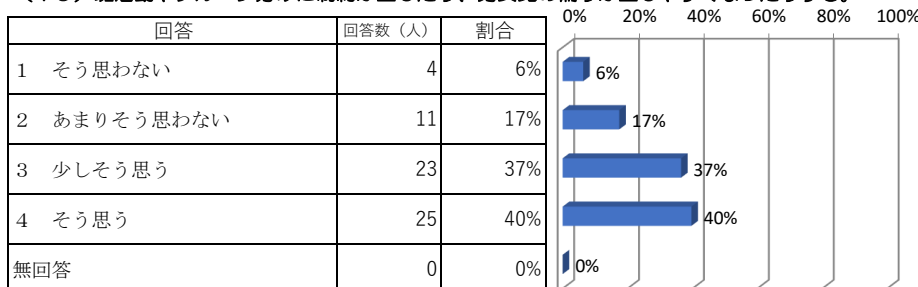
（１７）体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる。



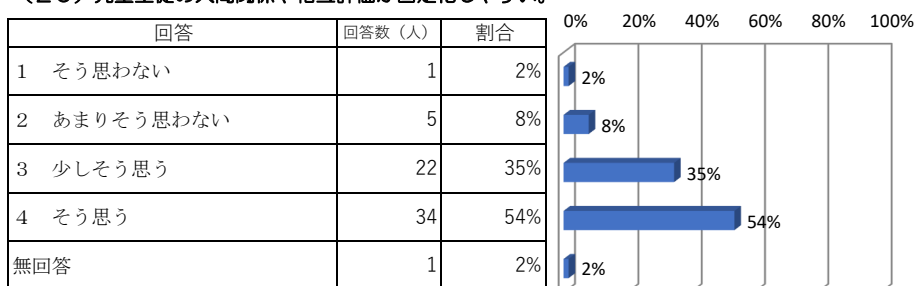
（１８）運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・行事の教育効果が下がる。



（１９）班活動やグループ分けに制約が生じたり、男女比の偏りが生じやすくなったりする。

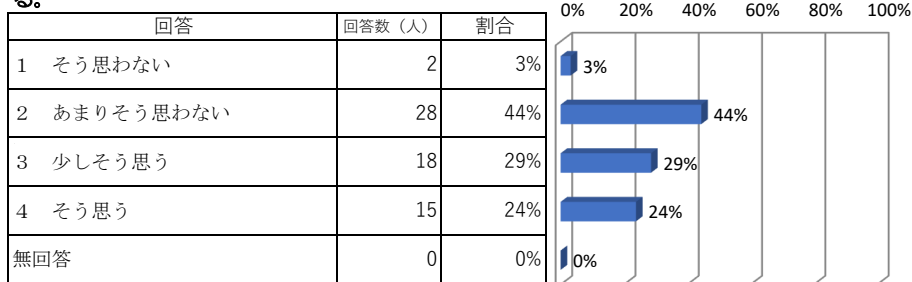


（２０）児童生徒の人間関係や相互評価が固定化しやすい。

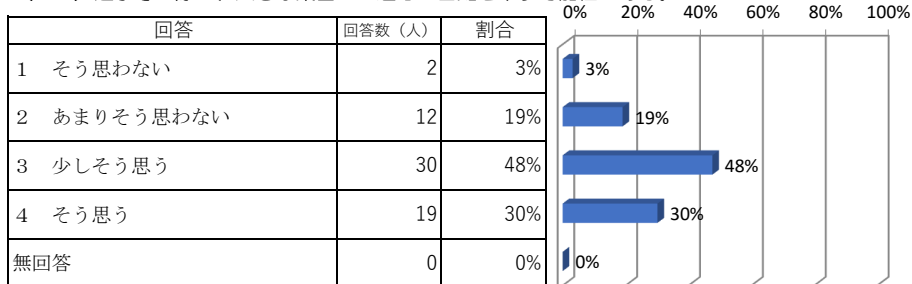


アンケート調査回答状況（中学校 小規模校）

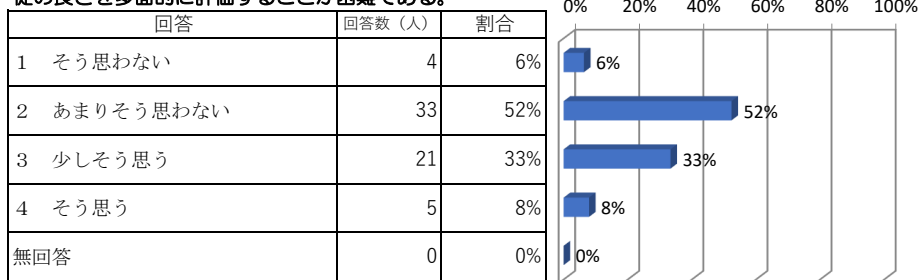
（２１）教員への依存心が強まったり、教員と児童生徒との心理的な距離が近くなりすぎたりする。



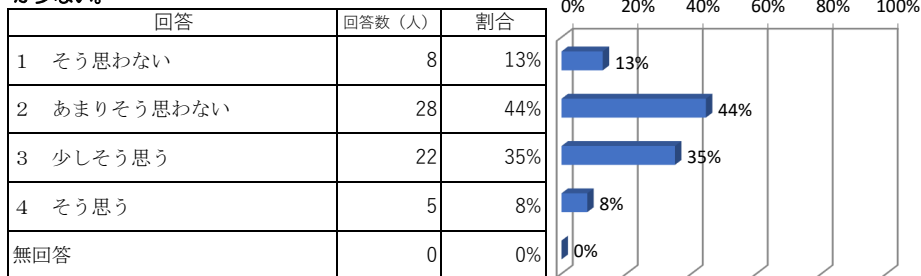
（２２）進学等の際に、大きな集団への適応に困難を来す可能性がある。



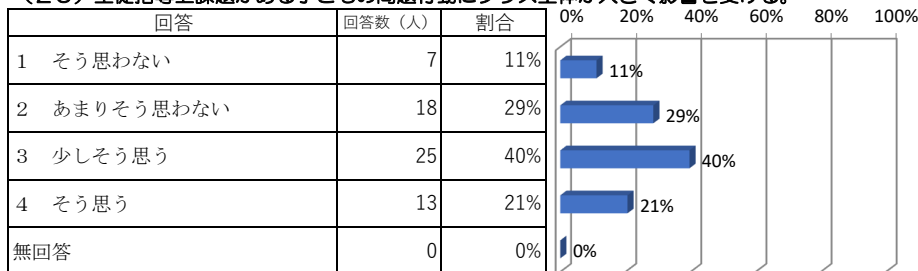
（２３）児童生徒が多様な物の見方や考え方、価値観、表現の仕方に触れることが難しく、児童生徒の良さを多面的に評価することが困難である。



（２４）上級生・下級生間のコミュニケーションの機会や、学習や進路選択の模範となる先輩の数が少ない。



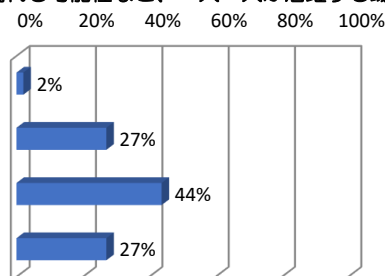
（２５）生徒指導上課題がある子どもの問題行動にクラス全体が大きく影響を受ける。



回答数 48

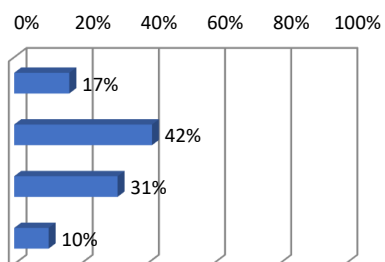
（１）学校行事等において、係や役割分担のない子どもが現れる可能性など、一人一人が活躍する場や機会が少なくなる場合がある。

回答	回答数（人）	割合
1 そう思わない	1	2%
2 あまりそう思わない	13	27%
3 少しそう思う	21	44%
4 そう思う	13	27%



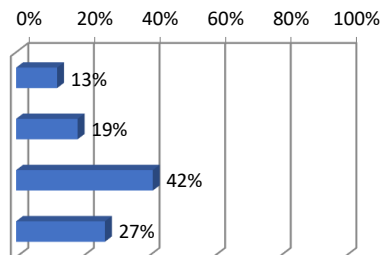
（２）集団生活においても同学年の結び付きが中心となり、異学年交流の機会が設定しにくくなる場合がある。

回答	回答数（人）	割合
1 そう思わない	8	17%
2 あまりそう思わない	20	42%
3 少しそう思う	15	31%
4 そう思う	5	10%



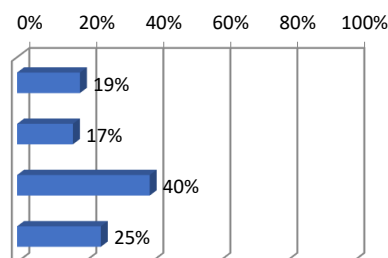
（３）同学年でもお互いの顔や名前を知らないなど、児童生徒間の人間関係が希薄化する場合がある。

回答	回答数（人）	割合
1 そう思わない	6	13%
2 あまりそう思わない	9	19%
3 少しそう思う	20	42%
4 そう思う	13	27%



（４）教員集団として、児童生徒一人一人の個性や行動を把握し、きめ細かな指導を行うことが困難であり、問題行動が発生しやすい場合がある。

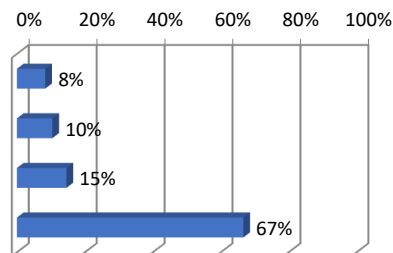
回答	回答数（人）	割合
1 そう思わない	9	19%
2 あまりそう思わない	8	17%
3 少しそう思う	19	40%
4 そう思う	12	25%



アンケート調査回答状況（小学校 大規模校）

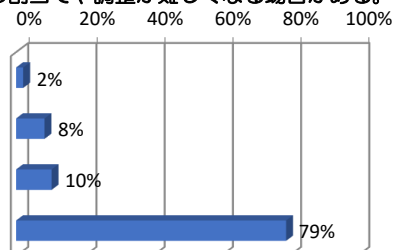
（５）児童生徒一人当たりの校舎面積、運動場面積が著しく狭くなった場合、教育活動の展開に支障が生じる場合がある。

回答	回答数（人）	割合
1 そう思わない	4	8%
2 あまりそう思わない	5	10%
3 少しそう思う	7	15%
4 そう思う	32	67%



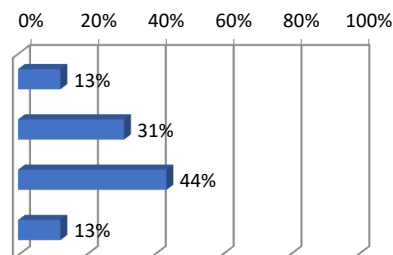
（６）特別教室や体育館、プール等の利用に当たって授業の割当てや調整が難しくなる場合がある。

回答	回答数（人）	割合
1 そう思わない	1	2%
2 あまりそう思わない	4	8%
3 少しそう思う	5	10%
4 そう思う	38	79%



（７）学校運営全般にわたり、校長が一体的なマネジメントを行ったり、教職員が十分な共通理解を図ったりする上で支障が生じる場合がある。

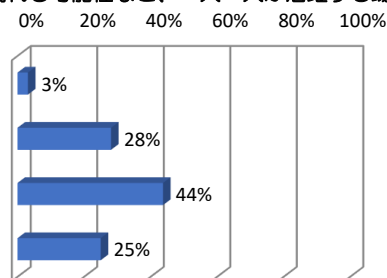
回答	回答数（人）	割合
1 そう思わない	6	13%
2 あまりそう思わない	15	31%
3 少しそう思う	21	44%
4 そう思う	6	13%



回答数 32

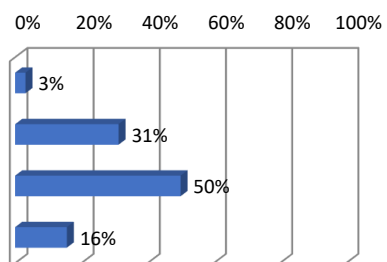
（１）学校行事等において、係や役割分担のない子どもが現れる可能性など、一人一人が活躍する場や機会が少なくなる場合がある。

回答	回答数（人）	割合
1 そう思わない	1	3%
2 あまりそう思わない	9	28%
3 少しそう思う	14	44%
4 そう思う	8	25%



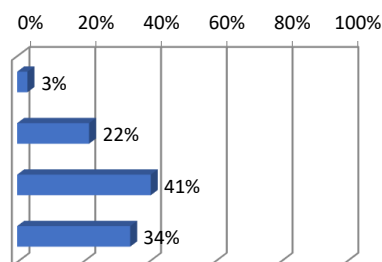
（２）集団生活においても同学年の結び付きが中心となり、異学年交流の機会が設定しにくくなる場合がある。

回答	回答数（人）	割合
1 そう思わない	1	3%
2 あまりそう思わない	10	31%
3 少しそう思う	16	50%
4 そう思う	5	16%



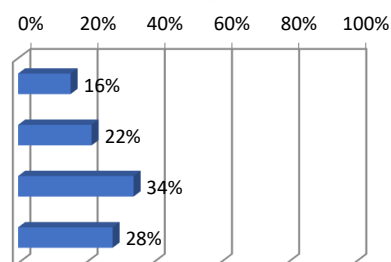
（３）同学年でもお互いの顔や名前を知らないなど、児童生徒間の人間関係が希薄化する場合がある。

回答	回答数（人）	割合
1 そう思わない	1	3%
2 あまりそう思わない	7	22%
3 少しそう思う	13	41%
4 そう思う	11	34%



（４）教員集団として、児童生徒一人一人の個性や行動を把握し、きめ細かな指導を行うことが困難であり、問題行動が発生しやすい場合がある。

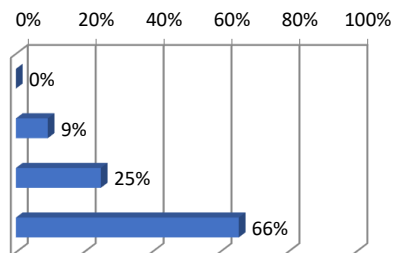
回答	回答数（人）	割合
1 そう思わない	5	16%
2 あまりそう思わない	7	22%
3 少しそう思う	11	34%
4 そう思う	9	28%



アンケート調査回答状況（中学校 大規模校）

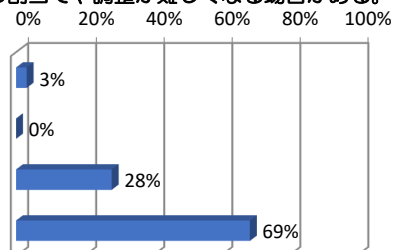
（５）児童生徒一人当たりの校舎面積、運動場面積が著しく狭くなった場合、教育活動の展開に支障が生じる場合がある。

回答	回答数（人）	割合
1 そう思わない	0	0%
2 あまりそう思わない	3	9%
3 少しそう思う	8	25%
4 そう思う	21	66%



（６）特別教室や体育館、プール等の利用に当たって授業の割当てや調整が難しくなる場合がある。

回答	回答数（人）	割合
1 そう思わない	1	3%
2 あまりそう思わない	0	0%
3 少しそう思う	9	28%
4 そう思う	22	69%



（７）学校運営全般にわたり、校長が一体的なマネジメントを行ったり、教職員が十分な共通理解を図ったりする上で支障が生じる場合がある。

回答	回答数（人）	割合
1 そう思わない	2	6%
2 あまりそう思わない	8	25%
3 少しそう思う	12	38%
4 そう思う	10	31%

